

令和5年10月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年10月分について、輸出額は「映像機器」、「原動機」などが減少したものの、「自動車」、「石油製品」、「有機化合物」などが増加したことから、対前年同月比26.9%の増加となった。また、輸入額は「原油及び粗油」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「石油製品」などが減少したことから、同5.8%の減少となった。その結果、差引額は783億円（同32.2%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1,182億円	+26.9%	1,965億円	▲5.8%	▲783億円	▲32.2%
	3ヵ月連続の増加		7ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	207億円	+315.3%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,206億円	+23.2%
		(2) 石油製品	211億円	+97.1%			(2) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	16億円	+41.2%
		(3) 有機化合物	77億円	+46.8%			(3) コーヒー	10億円	+61.4%
	減少品目	(1) 映像機器	19億円	▲61.1%		減少品目	(1) 液化天然ガス	309億円	▲31.8%
		(2) 原動機	16億円	▲41.6%			(2) 石油製品	44億円	▲75.2%
		(3) その他の化学製品	22億円	▲31.7%			(3) 液化石油ガス	—	全減
地域別動向	西欧、大洋州が増加、中東は減少				地域別動向	大洋州、北米が減少、中東は増加			

（参考）ドルレートは、148.88円（前年同月比2.6%、3.79円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。